令和4年第8回佐伯市農業委員会議事録

日 時： 令和4年8月2日（火曜日） 15時00分～16時08分

場 所： 佐伯市役所 6階 大会議室

出席農業委員： 1番 宮脇 保芳 2番 松尾 孫重 3番 山田 美之 4番 河野 周一
5番 吉良 勝彦 6番 波戸崎 孝 7番 矢野 弥平 8番 谷川 享宏
9番 小野 隆壽 11番 竹中 裕子 16番 田原 俊秀 17番 冨田 寿志
欠席委員：10番 小野 美智子 12番 高嶋 千恵美 13番 塩月 吉伸 14番 三又 勝弘
事務局：事務局長 橘 公展 総括主幹 岡田 崇 副主幹 東木原 一義 副主幹 天野 仁
事務員 児玉 真輝
農政課：課長補佐 首藤 和秀 事務員 木本 匠

議事日程

- 第1 欠席委員の報告
- 第2 議事録署名委員の指名
- 第3 農地案件の件数ならびに面積総括表について
- 第4 議案第25号 農地法第3条の規定による許可申請について
議案第26号 農地法第4条の規定による許可申請について
議案第27号 農地法第5条の規定による許可申請について
- その他 ①農用地利用集積計画（案）について（農政課）
②利用権設定の推進について（お願い）（農政課）
③農用地利用配分計画（案）の意見聴取について（農政課）
④空き家バンクに登録された空き家に付随した農地の指定について
⑤非農地証明願について
⑥非農地通知について（宇目地域）

事務局長：それでは令和4年第8回佐伯市農業委員会を開催いたします。本日の欠席は10番小野美智子委員、12番高畠千恵美委員、13番塩月吉伸委員、14番三又勝弘委員です。農業委員16名中本日の会議の出席者は現在12名です。よって農業委員会会議規則第6条により会議が成立したことを報告します。なお、先月の大分県知事許可案件につきましては、令和4年7月15日付けで10件許可となっていますので報告します。それでは会長ご挨拶をお願いします。

会 長：（挨拶）

事務局長：農業委員会会議規則第4条により会長が議長になりますので、会長に議事進行の方をよろしくお願いします。

議 長：それでは議事進行を務めさせていただきます。それでは本日の議事録署名人を指名します。議事録の署名を16番田原俊秀委員、17番刃田寿志委員にお願いします。議事に入ります前に事務局から議案の説明をお願いします。

事務局：それでは議案書の2ページをお開きください。本日の農地案件の件数及び面積につきまして説明いたします。農地法第3条、件数は9件、田が19,622㎡、畑が2,275㎡、合計21,897㎡。農地法第4条、件数は2件、田が268㎡、畑が508㎡、合計776㎡。農地法第5条、件数は8件、田が743㎡、畑が4,059㎡、合計4,802㎡。総数の合計件数が19件、合計面積が、田が20,633㎡、畑が6,842㎡、総合計面積が27,475㎡。以上を提案いたします。審議の程お願いいたします。

議 長：ただいま事務局より件数及び面積総括の説明がございましたが質問等ございませんか。（ありません、の声あり）ないようですのでさっそく議事に入りたいと思います。それでは議案第25号農地法第3条の規定による許可申請について議案審議いたします。それでは3ページの3条の1番より事務局説明をお願いいたします。なお、本日は担当推進委員が欠席のため、事務局より推進委員の意見もあわせてお願いいたします。

事務局：申請地の位置につきましては、配布しています管内図と住宅地図をご参照ください。土地の表示、申請人、耕作面積は議案書のとおりです。3条の1番について説明します。住宅地図の冊子1ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農用地です。譲受人は自己所有地で米や野菜を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人1人で行うとのことです。農地取得後は米を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は246.62aとなり、佐伯地域の下限面積30a以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと思われま。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございまし

た。それでは3条の1番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。(ありません、の声あり)ないようにございますので取りまとめたいと思います。それでは3条の1番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。(挙手全員)全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして3条の2番について事務局説明をお願いします。

事務局：住宅地図の冊子2ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農用地です。譲受人は自己所有地で米や野菜を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人と妻の2人でやっているとのことです。農地取得後は米を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は90.59aとなり、本匠地域の下限面積20a以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは3条の2番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。(ありません、の声あり)ないようにございますので取りまとめたいと思います。それでは3条の2番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。(挙手全員)全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして3条の3番について事務局説明をお願いします。

事務局：住宅地図の冊子3ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農用地です。譲受人は自己所有地で野菜を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農地取得後は野菜を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は126.27aとなり、直川地域の下限面積30a以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは3条の3番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。(ありません、の声あり)ないようにございますので取りまとめたいと思います。それでは3条の3番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。(挙手全員)全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして3条4番について事務局説明をお願いします。

事務局：住宅地図の冊子4～6ページをご覧ください。今回の申請は贈与による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農用地です。譲受人は自己所有地で米や野菜、杉苗を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人と父、母の3人で行うとのことです。農地取得後は引き続き米や野菜、杉苗を栽培するとのことです。取得

後の耕作面積は 172.18 a となり、宇目地域の下限面積 30 a 以上となります。本案件は親から子への贈与となっています。譲受人は現在県外在住ですが、所有農地がある地区に居住している父母が主に耕作管理を続け、年に数年帰省した際には共に農業をしているとのことで、今後もそれを継続していきます。引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは 3 条の 4 番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。それでは 3 条の 4 番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして 3 条 5 番について事務局説明をお願いします。

事 務 局：住宅地図の冊子 7 ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農地です。譲受人は自己所有地で果樹や野菜、花木を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人と妻、母の 3 人で行っているとのことです。農地取得後は果樹を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は 117.12 a となり、農用地区域外農地の下限面積 0.1 a 以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは 3 条の 5 番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。それでは 3 条の 5 番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして 3 条 6 番について事務局説明をお願いします。

事 務 局：住宅地図の冊子 8 ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農用地です。譲受人は自己所有地で野菜を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人と夫、母の 3 人で行うとのことです。農地取得後は果樹を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は 53.78 a となり、蒲江地域の下限面積 20 a 以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは 3 条の 6 番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。（ありません、の声あり）ないようでございますので

取りまとめたいと思います。それでは3条の6番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして3条7番について事務局説明をお願いします。

事務局：住宅地図の冊子9ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農用地です。譲受人は自己所有地で果樹を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人と妻の2人で行うとのことです。農地取得後は果樹を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は138.3106aとなり、蒲江地域の下限面積20a以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは3条の7番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。それでは3条の7番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして3条8番について事務局説明をお願いします。

事務局：住宅地図の冊子10ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農地です。譲受人は自己所有地で果樹や野菜を栽培しているとのことです。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人と妻の2人で行うとのことです。農地取得後は果樹や野菜を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は14.05aとなり、農用地区域外農地の下限面積0.1a以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは3条の8番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。それでは3条の8番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで許可したいと思います。続きまして3条9番について事務局説明をお願いします。

事務局：住宅地図の冊子11ページをご覧ください。今回の申請は売買による所有権の移転です。申請農地は農業振興地域内の農地です。農業経営に必要な農機具は所有しています。農業は譲受人と妻の2人で行っているとのことです。農地取得後は野菜を栽培するとのことです。取得後の耕作面積は0.44aとなり、農用地区域外農地の下限面積0.1a以上となります。今後引き続き農業を行うので申請農地周辺地域への農業上の支障は予想されないと考えられます。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

おります。

議 長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは3条の9番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。それでは3条の9番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで許可したいと思います。これで農地法第3条の9件の審議を終わります。続きまして5ページの議案第26号、農地法第4条の規定による許可申請についてを議案審議いたします。4条の1番について事務局説明をお願いします。

事務局：4条の1番について説明いたします。お配りしている地図の12ページをご覧ください。申請地は、都市計画区域内、第二種中高層住居専用地域の第3種農地の畑です。一般住宅としての用途による申請です。申請者の現在の住宅が築50年以上であり、老朽化により修理が追いつかないため、実家の近隣に新たに住宅を建築することになりました。なお、申請地は令和2年2月14日、5条許可、転用目的資材置場用地、一時転用の工事完了後、柑橘類の苗木が植付けされており、県道沿いの一部は農作業用の車等の乗り入れのため、一部砂利が敷かれている状況です。申請地では木造2階建、建築面積90.91㎡の住宅を建築します。造成工事は現状のまま利用するため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われまます。また、汚水処理及び生活排水は合併処理浄化槽を設置し、処理水は既存水路に放流します。なお、雨水は自然流下します。水利権はありません。許可基準は運用通知第2-1-(1)-エ-(イ)、第3種農地の許可要件、第3種農地の転用は許可することができるに該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そして担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは4条の1番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。4条の1番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。続きまして4条2番について事務局説明をお願いします。

事務局：4条の2番について説明いたします。お配りしている地図の13ページをご覧ください。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い第2種農地の田です。貸駐車場用地としての用途による申請です。申請者が会長を務める会社の駐車場は事務所横の土地を利用していますが、来客業者の車が駐車することも多いため、従業員の車が台数分確保することができず、現在駐車できない従業員の車は一時的に路上駐車をせざるを得ないのが現状です。よって、今回の申請により会社から200m程度離れた申請地を従業員用の駐車場として利用、会社に貸付けする計画です。申請地では従業員用合計10台分の駐車スペースを設けます。造成工事については整地のみのため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われまます。また、雨水は自然浸透します。水利権はありません。許可基準は運用通知第2-1-(1)-カ-(イ)、第2種農地の許可要件、申請に係る農地に代えて周辺の他の土地を供することによ

っては当該申請に係る事業の目的を達成することができないと認められる場合に該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そして担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは4条の2番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。4条の2番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。これで農地法第4条の2件の審議を終わります。続きまして6ページの議案第27号農地法第5条の規定による許可申請についてを議案審議いたします。5条の1番について事務局説明をお願いします。

事務局：5条の1番について説明いたします。地図の14ページをご覧ください。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い第2種農地の畑です。太陽光発電施設としての用途による申請です。申請地では約20年前までイモを作付けしておりましたが、労力不足及び後継者不足のため、耕作管理していくことに苦慮しておりました。申請地では隣接地が宅地のため、緩衝地を設けて、216枚の太陽光パネルを設置します。盛土等の造成工事は行わず、整地のみを行い使用するため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われま。また雨水は自然浸透方式ですが、浸透柵を2か所設置する計画です。なお、北側隣接宅地の一部を工事車両等の進入路として利用するため、当該委託修理者から承諾をいただいております。水利権はありません。許可基準は運用通知第2-1-(1)-カー(イ)、第2種農地の許可要件、申請に係る農地に代えて周辺の他の土地を供することによっては当該申請に係る事業の目的を達成することができないと認められる場合に該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そして担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは5条の1番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）なしとの意見がございましたので取りまとめたいと思います。5条の1番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは5条の2番について事務局説明をお願いします。

事務局：5条の2番について説明いたします。地図の15ページをご覧ください。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い第2種農地の畑です。貸資材置場用地としての用途による申請です。譲受人3名が家族経営する工務店の資材置場について、既存の倉庫兼作業場を利用していますが、手狭となっており、資材の上に資材を積み重ねたり、作業ヤードに仮置きしている状況です。そのため、今回の申請により工務店近くに位置する2か所の申請地を当該工務店の資材置場として利用、工務店に貸付けする計画です。なお、申請地の一部住宅地図左側は、譲渡人の親が昭和59年頃から整地して物置を設置しているため、譲渡人からの始末書が添付されています。申請地では譲受人が家族経営する工務店の建築関

係の資材置場を設けます。造成工事は整地のみのため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われます。また、雨水は自然浸透します。なお、申請地の一部、住宅地図の右側上部には農業用倉庫が現存していますが、農業施設に供する面積が2a未満として転用届出が提出されており、今回の転用計画により当該倉庫を木材置場として利用する計画です。水利権はありません。許可基準は、第2種農地の許可要件に該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより、申請書の一部については所有者の被相続人から昭和59年頃から整地して物置を設置、利用しており、始末書が添付しておりますとの意見書をいただいています。事務局としても無断転用については問題ですが、始末書からは農地法に対する知識が不足しており、悪意がなかったことが確認でき、また周囲への営農に支障をきたすことが予想されないことから、現地に関しては問題ないと思われます。

議 長：事務局からの説明、また担当推進委員さんからも追認案件で遺憾であるけれども、始末書が添付されており、周辺農地に関しても影響がないということでもあります。それでは5条の2番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）なしとの意見がございましたので取りまとめたいと思います。5条の2番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは5条の3番について事務局説明をお願いします。

事務局：5条の3番について説明いたします。地図の16ページをご覧ください。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い第2種農地の田です。貸駐車場用地としての用途による申請です。遺言執行者である譲受人は所有する宅地の一部を近隣住民の宅地に駐車スペースがないため、貸付けしている状況です。今後、譲受人が所有する宅地に祖父が居住し、母親も帰省後の長期滞在時に当該駐車スペースを利用する予定であるため、貸付けしている駐車場を本申請地に移転する計画です。また、申請地近くにはお墓があり、親戚がお墓参りに行く際の来客用駐車場及び通路として利用し、周辺住民用の駐車場の予備スペースとしても利用する計画です。なお、申請地は所有者の親が昭和52年10月17日から埋土をしているため、譲受人からの始末書が添付されています。申請地では周辺住民用2台、来客用2台（周辺住民用及び含む）、計4台分の駐車スペースを設けます。造成工事は整地のみのため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われます。また、雨水は自然浸透します。なお、空きスペースには景観、環境維持のため、桜、キンモクセイを植栽する計画であり、隣接地に対しては間隔を空けて植林し、高さも3m以内に調整する予定です。水利権はありません。許可基準は、第2種農地の許可要件に該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんからは始末書、事業計画書等が添付されており、特に問題ない旨の意見書をいただいています。事務局としても無断転用については問題ですが、始末書からは農地法に対する知識が不足しており、悪意がなかったことが確認でき、また周囲への営農に支障をきたすことが予想されないことから、現地に関しては問題ないと思われます。

議 長：事務局からの説明、また担当推進委員さんからも追認案件で遺憾であるけれども、始末書が添付されており、現地に関しては問題がないということでもあります。それでは5条の3番に

ついてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）なしとの意見がございましたので取りまとめたいと思います。5条の3番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは5条の4番について事務局説明をお願いします。

事務局：5条の4番について説明いたします。地図の17ページをご覧ください。申請地は、都市計画区域内、準工業地域の第3種農地の畑です。一般住宅としての用途による申請です。貸人の子である借人は家族が増えたことにより借家が手狭となったため、新たに住宅を建築することになりました。申請地では木造平屋建、建築面積156.51㎡の住宅を建築します。造成工事は現状のまま利用しますが、法面保護も行うため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われます。また、汚水処理及び生活排水は合併処理浄化槽を設置し、処理水は雨水とともに道路側溝へ放流します。小田井堰土地改良区から農地転用に伴う措置等について協議が調い、合意の意見書が添付されています。許可基準は運用通知第2-1-(1)一エー(イ)、第3種農地の許可要件、第3種農地の転用は許可することができるに該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議長：事務局からの説明、そして担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは5条の4番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）なしとの意見がございましたので取りまとめたいと思います。5条の4番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは5条の5番について事務局説明をお願いします。

事務局：5条の5番について説明いたします。地図の18ページをご覧ください。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い第2種農地の畑です。一般住宅としての用途による申請です。譲受人は結婚して借家が手狭となったため、新たに住宅を建築することになりました。なお、申請地の一部は譲渡人の親が昭和45年頃に通路として利用しているため、譲渡人からの始末書が添付されています。申請地では木造平屋建、建築面積149.67㎡の住宅を建築します。造成工事は現状のまま利用するため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われます。また、汚水処理及び生活排水は合併処理浄化槽を設置し、処理水は市道側溝に放流します。なお、雨水は自然流下します。水利権はありません。許可基準は、第2種農地の許可要件に該当します。事務局からの説明は以上です。担当推進委員さんからは、本案件は無断転用ですが、始末書も添付されており、現地に関しては問題ない旨の意見書をいただいております。事務局としても無断転用については問題ですが、始末書からは農地法に対する知識が不足しており、悪意はなかったことが確認でき、また周囲への営農に支障をきたすことが予想されないことから、現地に関しては問題ないと思われます。

議長：事務局からの説明、また担当推進委員さんからも追認案件で遺憾であるけれども、始末書が添付されており、現地に関しては問題がないということであります。それでは5条の5番に

ついてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）なしとの意見がございましたので取りまとめたいと思います。5条の5番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは5条の6番について事務局説明をお願いします。

事務局：5条の6番について説明いたします。地図の19ページをご覧ください。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い第2種農地の畑です。一般住宅としての用途による申請です。貸人の子である借人は子どもが成長して借家が手狭となったため、新たに住宅を建築することになりました。申請地では木造二階建、建築面積79.68㎡の住宅を建築します。造成工事は高さ1.15mの盛土を行いますが、擁壁を設けるため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われます。また、汚水処理及び生活排水は、集落排水処理施設に接続し、雨水は自然流下します。水利権はありません。許可基準は第2種農地の許可要件に該当します。事務局からの説明は以上です。担当推進委員さんからは、周囲の営農条件への影響についても問題なく、総合的に特に問題ない旨の意見書をいただいています。

議長：事務局からの説明、そして担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは5条の6番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）なしとの意見がございましたので取りまとめたいと思います。5条の6番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは5条の7番について事務局説明をお願いします。

事務局：5条の7番について説明いたします。地図の20ページをご覧ください。申請地は、都市計画区域内、第二種住居地域の第3種農地の畑です。一般住宅兼事務所としての用途による申請です。譲受人により現地には簡易郵便局を新築するものですが、利便性も考え、住宅を兼用するため、新たに住宅兼事務所を建築することになりました。なお、申請地の一部は農作業用の通路として幅1m程度のアスファルト舗装が行われています。申請地では木造2階建、建築面積72.87㎡の住宅兼事務所を建築します。造成工事は現状のまま利用するため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われます。また汚水処理及び生活排水は公共下水道に接続し、雨水は自然流下します。塩屋土地改良組合から農地転用に伴う措置等について協議が調い、合意の意見書が添付されています。許可基準は第3種農地の許可要件に該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議長：事務局からの説明、そして担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは5条の7番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）なしとの意見がございましたので取りまとめたいと思います。5条の7番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは5条の8番について事

事務局説明をお願いします。

事務局：5条の8番について説明いたします。地図の21ページをご覧ください。申請地は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い第2種農地の畑です。駐車場用地としての用途による申請です。譲受人は申請地の隣接地に外国人技能支援のための寄宿舍22部屋を建築しますが、送迎車両3台分、寮生3台分に対し駐車場が4台分しかないため、不足の2台分については、路上駐車させざるを得ない状況です。そのため、申請地を寄宿舍の駐車場として利用する計画です。申請地では、来客用送迎車両2台分の駐車スペースを設けます。造成工事は整地のみのため、土砂の流出、崩壊の恐れはないと思われます。また、雨水は自然浸透します。水利権はありません。許可基準は第2種農地の許可要件に該当します。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議長：事務局からの説明、そして担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは5条の8番についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。5条の8番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。これで農地法第5条の8件について審議を終わります。それでは今回の議案審議を取りまとめたいと思います。議案第25号農地法第3条の9件につきましては許可したいと思います。議案第26号農地法第4条の2件、議案第27号農地法第5条の8件につきましては本委員会としては、許可相当として県知事の方に意見を進達したいと思います。それではここで一旦休憩といたします。

（休憩）

議長：それでは再開したいと思います。ただ今よりその他の議案①農用地利用集積計画（案）について議題といたします。それでは農政課説明をお願いします。

農政課：農政課木本です。前回の定例会でお願いしておりました利用権の新規掘り起こしと再設定について取りまとめいただいたものを農用地利用集積計画（案）として作成しましたので審議をお願いします。今回の農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による案件は全52件となっています。お手元の農用地利用集積計画（案）をご覧ください。表紙裏の一覧表をご覧ください。契約期間ごとの合計を読み上げます。契約期間2年が1筆で56㎡、契約期間5年が26筆で31,271㎡、契約期間6年が13筆で22,313㎡、契約期間10年が11筆で10,516㎡となっております。また、今月におきましては所有権移転がございます。こちらが1筆で714㎡あります。これらを合計すると全52筆で64,870㎡となります。なお、各契約の詳細につきましては次ページ以降に掲載しておりますのでご確認をお願いいたします。また、利用権の設定等を受ける者が公社の分につきましては、農地中間管理事業を通しておりますので、後程、農用地利用配分計画（案）にて説明いたします。以上の内容につきましては、農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると思われますので、ご審議の程

よろしく願いいたします。

議 長：ただいま農政課より農用地利用集積計画（案）について説明がございました。これより質問等受けたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いいたします。ございませんか。（ありません、の声あり）ないようでございますので、農用地利用集積計画（案）についてを取りまとめたいと思います。賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手多数）賛成多数ということで承認したいと思います。続きまして②利用権設定の推進について（お願い）ということで農政課お願いいたします。

農 政 課：利用権設定の推進について、毎月満期が到来する利用権の再設定の推進と新規の掘り起こしをお願いしております。満期到来者分については該当する推進委員の方へリストをお渡ししておりますので、相談等を受けた場合はご助言の程よろしく願いいたします。また、今回の利用権設定用紙の提出締切りは7月15日（金曜日）といたします。書類の提出につきましては農政課または各振興局になりますのでご助言の程よろしくお願いいたします。なお、設定用紙が必要な場合はお届けいたしますのでご連絡をいただきますようお願いいたします。

議 長：今月の締め切りは7月15日となっております。利用権設定の新規掘り起こしについて、皆さんの協力をお願いいたします。続きまして③農用地利用配分計画（案）について農政課より説明をお願いいたします。

農 政 課：農政課の首藤です。お手元の農用地利用配分計画（案）に沿って説明させていただきます。2枚目が集計表となっておりますのでご覧ください。今月の案件は令和4年10月1日開始分37件になります。内訳としまして、契約期間5年のもの、契約更新で登記地目が田、22筆28,996㎡。契約期間6年のもの、新規で登記地目が田、3筆5,647㎡、更新で登記地目が田、9筆16,350㎡。契約期間10年のもの、新規で登記地目が田、1筆2,791㎡、畑、2筆3,178㎡。以上合計37筆、56,962㎡となっております。詳細につきましては続けて農用地貸付調書を添付しておりますのでご確認ください。簡単ですが以上で説明を終わります。ご審議の程よろしく願いいたします。

議 長：ただいま農政課より農用地利用配分計画（案）についての説明がございました。どなたか意見等がございましたら挙手をもってお願いいたします。ございませんか。（ありません、の声あり）ないようですので取りまとめたいと思います。農政課より提出された農用地利用配分計画（案）について特に意見がないということに賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで、農用地利用配分計画（案）についての意見は特になしということとします。続きまして④空き家バンクに登録された空き家に付随した農地の指定についてを審議いたします。事務局説明をお願いいたします。本日は担当推進委員が欠席のため、事務局より推進委員の意見もあわせてお願いいたします。

事 務 局：申請地の位置につきましては、配布しています管内図と住宅地図をご参照ください。土地の表示、申請人は議案書のとおりです。今回の申請は空き家バンクに関連した農地の指定につ

いてです。申請地は空き家に隣接した 0.91a の農地 1 筆です。空き家バンクに登録された空き家を購入される方は後日改めて 3 条申請を行うこととなります。農地の状態から判断して耕作に適した農地と認められるか、空き家バンクに登録された家屋からの耕作距離は適当か。以上をご留意の上、審議をお願いいたします。事務局からの説明は以上です。担当の推進委員さんより特に問題ない旨の意見書をいただいております。

議 長：事務局からの説明、そしてまた担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。それでは空き家バンクに登録された空き家に付随した農地の指定についてこれより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）ないようでございますので取りまとめたいと思います。空き家バンクに登録された空き家に付随した農地の指定について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。それでは続きまして⑥非農地証明願についてを審議いたします。1 番について事務局説明をお願いします。

事 務 局：それでは非農地証明願 1 番の説明をいたします。申請地の現地調査は 7 月 19 日に担当区の三又推進委員と事務局 2 名で実施しました。申請地は、佐伯市鶴見大字地松浦の 1 筆です。申請地の土地の表示、申請人等は議案書のとおりです。本申請地は平成 8 年に現所有者が相続しておりますが、相続する以前、昭和 14 年から不耕作状態であり、また、現所有者が県外在住者で管理ができないため今回の申請に至っております。現況はスクリーンに映し出しているとおり雑木等が生い茂っており、この土地を農地に復元するのは周囲の状況から判断すれば困難な状況であろうと思われます。よって本申請地は、非農地証明書発行基準要領第 2 の 4 に該当します。なお、地区推進委員さんからは特に問題なしとの意見書をいただいております。審議の程よろしくをお願いします。

議 長：ただいま事務局からの説明、また担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。これより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもってお願いします。（ありません、の声あり）特に意見なしとのことなので取りまとめたいと思います。それでは非農地証明願 1 番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。次に 2 番について事務局説明をお願いします。

事 務 局：それでは非農地証明願 2 番の説明をいたします。申請地の現地調査は 7 月 19 日に担当区の山田推進委員と事務局 2 名で実施しました。申請地は、佐伯市上灘区の 1 筆です。申請地の土地の表示、申請人等は議案書のとおりです。本申請地は昭和 25 年に農地法が制定される以前から住宅が建築され、住居として使用されております。現在この住宅に移住している方がこの土地を取得するための所有権移転をする際、地目が畑であることが判明し、所有権移転登記ができないため、この申請に至っております。現況はスクリーンに映し出しているとおりで、昭和 59 年には住宅の建て替えをし、平成 3 年には増築等をしております。今回の件に関しては農地法が制定される以前から住宅地として利用されておりますので、問題ないと思います。よって本申請地は非農地証明書発行基準要領第 2 の 5 に該当します。なお、地区推進委員さんからは特に問題なしとの意見書をいただいております。審議の程よろしくお

願います。審議の程よろしく願います。

議 長：ただいま事務局からの説明、また担当推進委員さんからも特に問題なしとの意見がございました。これより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもって願います。（ありません、の声あり）特に意見なしとのことなので取りまとめたいと思います。それでは非農地証明願 2 番について賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。続きまして⑥非農地通知について、事務局より説明をお願いします。

事 務 局：それでは非農地通知の発送について説明をします。今回、宇目地区の非農地通知書を 8 月 5 日付けで発送する予定にしております。それに伴い、宇目地区の非農地該当地番を大字ごとに抜粋し、現況写真を撮影していますので、ご覧ください。これは南田原〇〇〇〇番、こういうふうな状況でございます。これが木浦内〇〇〇〇番と〇〇〇〇番ですが、こういうふうな状況になっております。小野市〇〇〇〇番と〇〇〇〇番はもう山林化した状態になっております。千束〇〇〇〇番と〇〇〇〇番ですが、植林されて 20 年以上経っているような状況でございます。河内の〇〇〇〇番、〇〇〇〇番、これは田んぼの上側の写真です。この写真が塩見園〇〇〇〇番、〇〇〇〇番の写真でございます。これも植林されており、20 年以上経っているということです。これが重岡のビニールハウスの上側にあります、〇〇〇〇番、〇〇〇〇番でどこが農地かわからないような状態です。これが大平〇〇〇〇番、〇〇〇〇番、〇〇〇〇番。杉が植わっていて中でシイタケを栽培しているようなところでございますが、これも非農地として取り扱いたいと思います。以上で 8 大字の写真を見ていただきました。以上の写真をもって委員さん方には非農地の承認をいただきたいと思います。

議 長：ただいま事務局から宇目地域の非農地通知の説明がございました。これより意見等を求めたいと思います。どなたかございましたら挙手をもって願います。（ありません、の声あり）特に意見なしとのことなので取りまとめたいと思います。それでは賛成される方の挙手を求めたいと思います。（挙手全員）全員賛成ということで承認したいと思います。これにて全ての議案が終了いたしました。それでは閉会の言葉を副会長願います。

17 番委員：以上をもちまして、令和 4 年第 8 回佐伯市農業委員会を終了いたします。皆さまお疲れ様でした。

(16 時 08 分閉会)